

# 上越南地区商工会景況調査報告書

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 上越南地区（牧区、三和区、中郷区、板倉区、清里区）  
イ 対象企業 同地区内商工会員  
ウ 調査企業数 60 事業所（うち小規模事業者数 58 事業所）  
エ 回答企業数 60 事業所  
（回答率 100.0%）

### (2) 調査対象期間

令和5年 10月～令和5年 12月  
（調査時点：令和6年1月4日）

### (3) 調査方法

会員へ調査票を配布し回答を回収した。

※本報告書中の「DI」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（上昇、好転）企業の割合から減少（低下、悪化）企業の割合を差し引いた値を示すものである。

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
1 建設業	17	28.3%	17	28.3%
2 製造業	9	15.0%	9	15.0%
3 卸売業	4	6.7%	4	6.7%
4 小売業	14	23.3%	14	23.3%
5 飲食・宿泊業	8	13.3%	8	13.3%
6 サービス業その他	8	13.3%	8	13.3%
合計	60	100.0%	60	100.0%

	小規模企業	中小企業	大企業	合計
規模別回答企業数	58	2	0	60
構成比	96.7%	3.3%	0.0%	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

今回の調査では前年同期比・前期比・今後の見通しと全調査期間の指標において景況感は悪化となった。地域内の人口減少が進むとともに、高齢化率の割合が増加しており、需要及び個人消費の減少で全体的に売上、採算とも減少傾向にあるものの、卸売業や小売業は前期と比較すると売上が一時的に持ち直したとの回答もあった。しかしながら、今後については原材料・エネルギー価格の高騰や深刻な人手不足、さらには当地域に欠かせない降雪についても小雪予報であるなど、多くの業種が悪化・下降傾向するとの懸念が強まり、事業者の先行きは厳しい見方となっている。

**【売上高】**

売上DI値については、前年同期比（R4.10月～12月）で△20.0ポイント減少し、前期比（R5.7月～9月）でも△1.7ポイント減少となった。さらに、今後の見通し（R6.1月～3月）においては△35.0ポイント減少と大幅に減少となっている。前年同期調査と比較すると僅かであるが改善した数値となっているが、今後の見通しでは調査企業の5割超が悪化の傾向になるとの回答が目立った。

**前年同期比**

増加	不変	減少
17	20	23

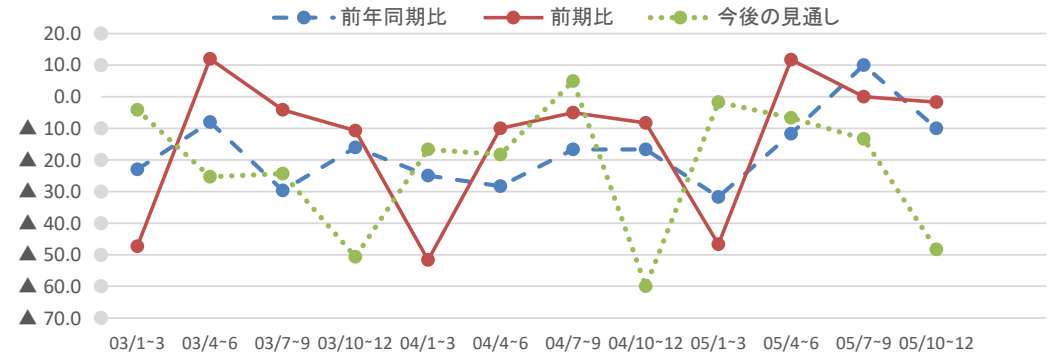
**前期比**

増加	不変	減少
17	25	18

**今後の見通し**

増加	不変	減少
5	21	34

**売上DIの推移**



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12
前年同期比	▲ 23.0	▲ 8.0	▲ 29.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 28.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 31.7	▲ 11.7	▲ 10.0	▲ 10.0
前期比	▲ 47.3	▲ 12.0	▲ 4.1	▲ 10.7	▲ 51.7	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 8.3	▲ 46.7	▲ 11.7	▲ 0.0	▲ 1.7
今後の見通し	▲ 4.1	▲ 25.3	▲ 24.3	▲ 50.7	▲ 16.7	▲ 18.3	▲ 5.0	▲ 60.0	▲ 1.7	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 48.3

**【採算】**

採算値については、前年同期比（R4.10月～12月）で△31.7ポイント減少し、前期比（R5.7月～9月）でも△10.0ポイントの減少となった。さらに、今後の見通し（R6.1月～3月）でも△21.7ポイント減少している。調査した全業種で、今後悪化すると回答した事業所数が多く見られた。

**前年同期比**

好転	不変	悪化
12	20	28

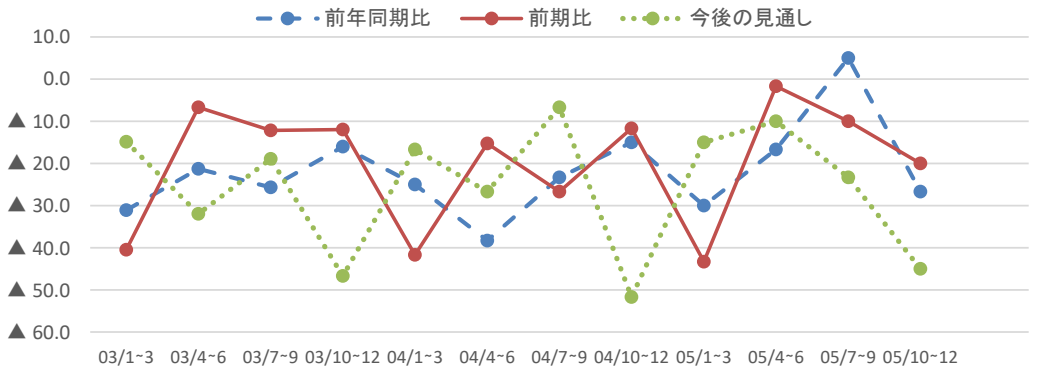
**前期比**

好転	不変	悪化
8	32	20

**今後の見通し**

好転	不変	悪化
4	25	31

**採算DIの推移**



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12
前年同期比	▲ 31.1	▲ 21.3	▲ 25.7	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 38.3	▲ 23.3	▲ 15.0	▲ 30.0	▲ 16.7	▲ 5.0	▲ 26.7
前期比	▲ 40.5	▲ 6.7	▲ 12.2	▲ 12.0	▲ 41.7	▲ 15.3	▲ 26.7	▲ 11.7	▲ 43.3	▲ 1.7	▲ 10.0	▲ 20.0
今後の見通し	▲ 14.9	▲ 32.0	▲ 18.9	▲ 46.7	▲ 16.7	▲ 26.7	▲ 6.7	▲ 51.7	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 23.3	▲ 45.0

## 【仕入単価】

仕入単価については、前年同期比（R4. 10月～12月）で△13.3ポイント減少し、前期比（R5. 7月～9月）も△5.0ポイント減少であった。さらに、今後の見通し（R6. 1月～3月）でも△11.7ポイント減少と全てで減少となった。今後も原材料価格の上昇で仕入単価の上昇が懸念される。

### 前年同期比

上昇	不変	低下
39	19	2

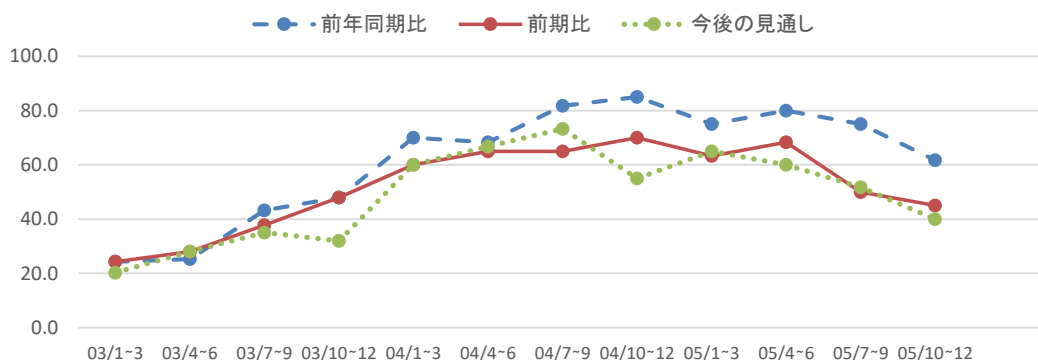
### 前期比

上昇	不変	低下
27	33	0

### 今後の見通し

上昇	不変	低下
24	36	0

## 仕入単価DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12
前年同期比	24.3	25.3	43.2	48.0	70.0	68.3	81.7	85.0	75.0	80.0	75.0	61.7
前期比	24.3	28.0	37.8	48.0	60.0	65.0	65.0	70.0	63.3	68.3	50.0	45.0
今後の見通し	20.3	28.0	35.1	32.0	60.0	66.7	73.3	55.0	65.0	60.0	51.7	40.0

## 【販売（客）単価】

販売単価については、前年同期比（R4. 10月～12月）で△13.3ポイント減少し、前期比（R5. 7月～9月）では△3.3ポイントの減少となった。また、今後の見通し（R6. 1月～3月）でも△13.4ポイントの減少を示している。前年同期比と比較すると上昇との回答が多く見られたが、前期比及び今後の見通しでは不変との回答した事業所が多かった。

### 前年同期比

上昇	不変	低下
16	38	6

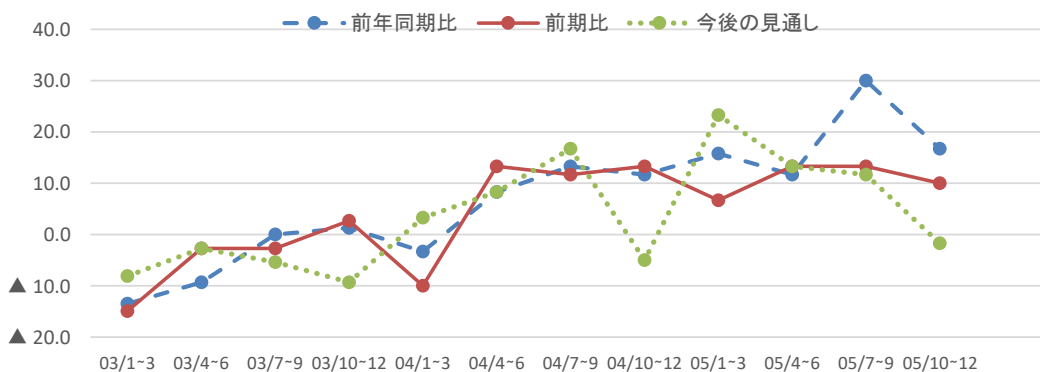
### 前期比

上昇	不変	低下
11	44	5

### 今後の見通し

上昇	不変	低下
8	43	9

## 販売（客）単価DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12
前年同期比	▲ 13.5	▲ 9.3	0.0	1.3	▲ 3.3	8.3	13.3	11.7	15.8	11.7	30.0	16.7
前期比	▲ 14.9	▲ 2.7	▲ 2.7	2.7	▲ 10.0	13.3	11.7	13.3	6.7	13.3	13.3	10.0
今後の見通し	▲ 8.1	▲ 2.7	▲ 5.4	▲ 9.3	3.3	8.3	16.7	▲ 5.0	23.3	13.3	11.7	▲ 1.7

### 【資金繰り】

資金繰りについては、前年同期比（R4. 10月～12月）で△25.0ポイント減少となり、前期比（R5. 7月～9月）でも△5.0ポイントの減少となった。さらに、今後の見通し（R6. 1月～3月）は△8.3ポイントと全てにおいて前回調査より減少となった。今後の見通しで悪化との回答が多く見られ、今後の資金繰りが厳しくなることは十分に考えられる。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
3	43	14

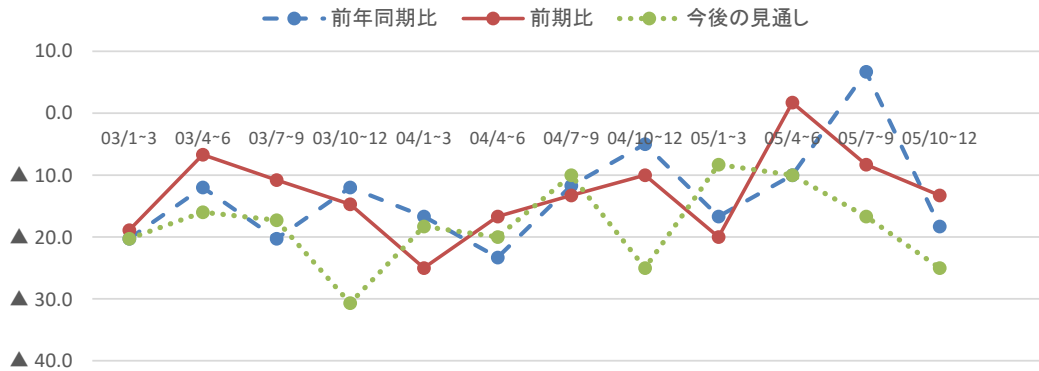
#### 前期比

好転	不変	悪化
2	48	10

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
2	41	17

### 資金繰りDIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12
前年同期比	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 20.3	▲ 12.0	▲ 16.7	▲ 23.3	▲ 11.7	▲ 5.0	▲ 16.7	▲ 10.0	6.7	▲ 18.3
前期比	▲ 18.9	▲ 6.7	▲ 10.8	▲ 14.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 10.0	▲ 20.0	1.7	▲ 8.3	▲ 13.3
今後の見通し	▲ 20.3	▲ 16.0	▲ 17.3	▲ 30.7	▲ 18.3	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 8.3	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 25.0

### 【雇用動向】

雇用動向については、前年同期比（R4. 10月～12月）で△3.3ポイント減少し、前期比（R5. 7月～9月）でも△5.0ポイントと共に減少した。しかし、今後の見通し（R6. 1月～3月）では+1.6ポイントの増加であった。また、今回調査で85%以上の事業所が不変と回答している。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
1	56	3

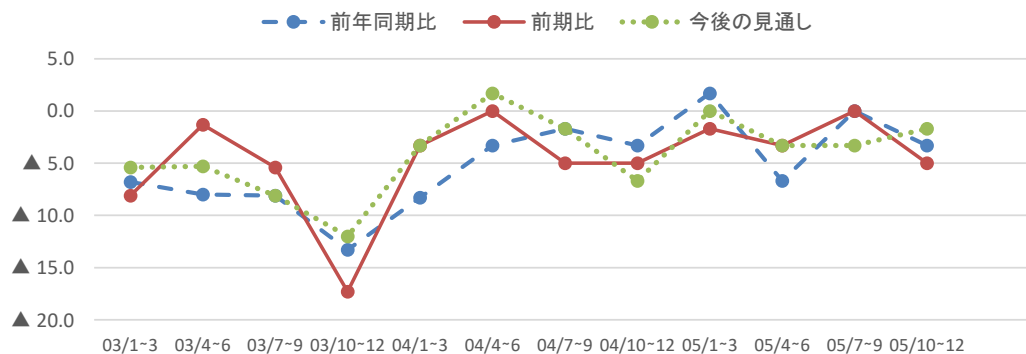
#### 前期比

増加	不変	減少
0	57	3

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
3	53	4

### 雇用動向DIの推移



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12
前年同期比	▲ 6.8	▲ 8.0	▲ 8.1	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 3.3	1.7	▲ 6.7	0.0	▲ 3.3
前期比	▲ 8.1	▲ 1.3	▲ 5.4	▲ 17.3	▲ 3.3	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 1.7	▲ 3.3	0.0	▲ 5.0
今後の見通し	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 8.1	▲ 12.0	▲ 3.3	1.7	▲ 1.7	▲ 6.7	0.0	▲ 3.3	▲ 3.3	▲ 1.7

**【景況判断】**

景況判断については、前年同期比（R4. 10月～12月）で△28.3ポイントと大幅に減少し、前期比（R5. 7月～9月）でも△13.4ポイントと共に減少した。さらに、今後の見通し（R6. 1月～3月）でも△30.0ポイント減少し悪化傾向にある結果を示した。但し、前年同時期調査から比較すると横ばいではあるが、今後の景況に不安視する回答が増えている。

**前年同期比**

好転	不変	悪化
7	34	19

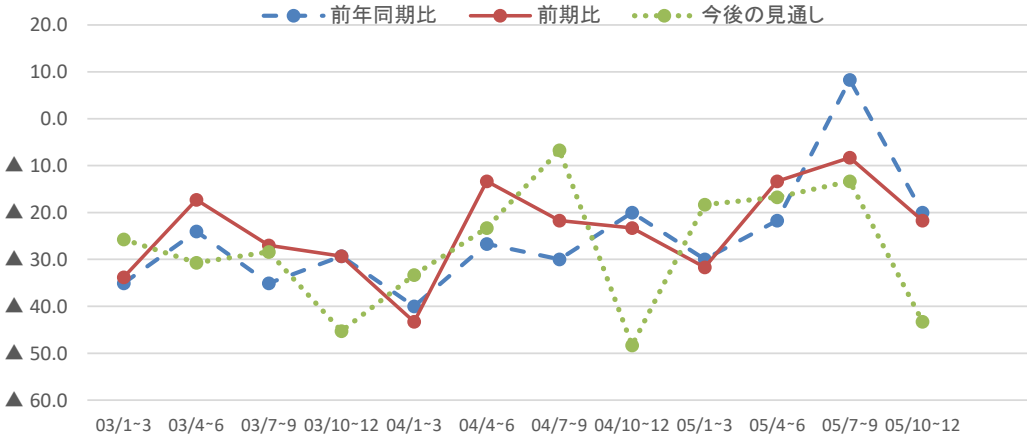
**前期比**

好転	不変	悪化
4	39	17

**今後の見通し**

好転	不変	悪化
2	30	28

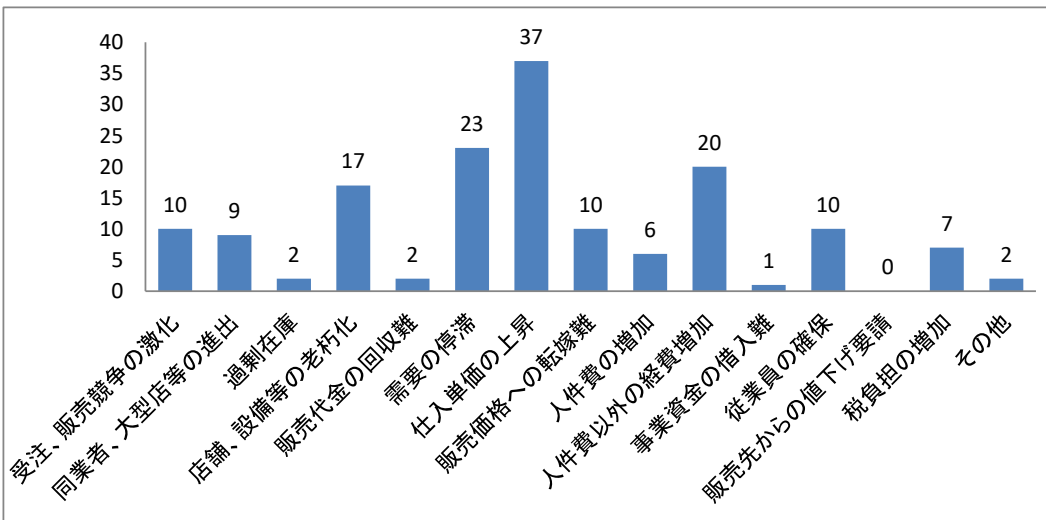
**景況判断DIの推移**



	03/1-3	03/4-6	03/7-9	03/10-12	04/1-3	04/4-6	04/7-9	04/10-12	05/1-3	05/4-6	05/7-9	05/10-12
前年同期比	▲ 35.1	▲ 24.0	▲ 35.1	▲ 29.3	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 21.7	▲ 8.3	▲ 20.0
前期比	▲ 33.8	▲ 17.3	▲ 27.0	▲ 29.3	▲ 43.3	▲ 13.3	▲ 21.7	▲ 23.3	▲ 31.7	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 21.7
今後の見通し	▲ 25.7	▲ 30.7	▲ 28.4	▲ 45.3	▲ 33.3	▲ 23.3	▲ 6.7	▲ 48.3	▲ 18.3	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 43.3

**【経営上の問題点】**

経営上の問題点について、今回の調査も前回調査と同じく「仕入単価の上昇」が最も多く、次いで「需要の停滞」「人件費以外の経費増加」が問題点として挙げられていた。特に「仕入単価の上昇」については、卸売業の全事業所、他に製造業及び小売業、飲食・宿泊業の事業所が多く回答している。さらに、小売業、飲食・宿泊業については7割以上の事業所が「需要の停滞」を問題点として挙げているのが目立つ。また、現在の経営環境下において経営者の皆さんが感じておられることとしては、需要の停滞や物価高騰、人手不足問題など不安視する意見等が挙げられた。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 建設業

建設業においては、売上高で前期同期比より悪化したと約5割の事業所が回答した。また、今後の見通しでも不変もしくは悪化と回答した事業所が多く、先行きの経済状況は厳しいと見受けられる。経営上の問題点に関しては、半数の事業所が材料価格等の高騰による「仕入単価の上昇」との回答で最も多く、次に「従業員の確保」となっている。これについては従業員の高齢化が進む中で、建設業者の存続を危ぶむ声が聞こえており、担い手の確保が大きな課題といえる。

#### (2) 製造業

製造業の売上高については、調査した半数の事業所が前年同期比より好転したと回答にも関わらず、今後の見通しにおいては対極に半数の事業所が悪化するとの回答が目立った。また、仕入単価においては前年同期比・前期比で半数の事業所が上昇した回答。経営上の問題点としては、「店舗、設備等の老朽化」「人件費以外の経費増加」と回答した事業所が多く挙げられていた。

#### (3) 卸・小売業

卸売業においては売上・採算性ともに調査した半数以上の事業所が前期比より好転したの回答ではあったが、今後の見通しでは半数の事業所が悪化するとの回答をしている。また、小売業についても、前期比で半数弱の事業所が売上増加したとの回答にも関わらず、今後の見通しでは半数以上の事業所が売上の増加は見込めないと不安を抱えている。経営上の問題点としては卸売業・小売業ともに「仕入単価の上昇」を挙げている事業所が多く、さらに、小売業においては7割以上の事業所が「需要の停滞」を問題点としている。

#### (4) サービス業（飲食・宿泊を含む）その他

サービス業においては、売上及び採算性で殆どの事業所が前年同期比から今後の見通しで不変もしくは悪化との回答であった。飲食業については、材料費や光熱費の高騰が著しいうえに、販売価格への転嫁難もあり利益の確保が難しい状況である。今後の新年会や歓送迎会需要に期待している。また、飲食・宿泊業で最も多い経営上の問題点に挙げられていたのは「需要の停滞」と「人件費以外の経費増加」であり、サービス業では「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」との回答が多く見られた。

※ 今後の事業・経営において強化したい・期待したい点（設備投資・販路開拓等）や現在の経営環境下において貴社が感じておられる自由意見

##### 【 建設業 】

- ・ 車輛・重機等が老朽化にともない修理費が増加している。又、地震の影響により高額商品が使われない状況になってしまった。
- ・ 安定的な受注。
- ・ 従業員の確保。
- ・ 今後の受注状況に不安。設備投資には消極的になる。
- ・ 効率の上がる新しい機器を導入する為の補助金等を知りたい。

##### 【 製造業 】

- ・ 原材料の価格上昇・光熱費などの上昇が商品単価に転嫁出来るか不安です。

##### 【 小売業 】

- ・ 販路の拡大。
- ・ カスタマイズの育成管理。
- ・ 物価上昇で大型店スーパーとの価格が大差。
- ・ 仕入価格が高くなり価格転嫁すると売上低下になってしまう。
- ・ ネット販売をやるか考えている。
- ・ 固定客の減少により、これ以上の収益は望めない。数年後の廃業も視野に考えなければいけないと思う。

##### 【 サービス業（飲食・宿泊を含む）その他 】

- ・ 来客数がのびないので、増客が見込める取組をしたい。
- ・ 新商品を開発して、お客様を増やしていきたいです。
- ・ 顧客の減少。